

A0方式による総合選抜入学試験 Q & A

Q 1 . 「A0方式による入学試験」とはどのようなものですか？

A 1 .

「A0」とは「アドミッションズ・オフィス」の略です。早稲田大学政治経済学部では、「志願者の特性・資質を多角的・総合的に審査し、当学部にふさわしい学生を選抜するための組織・体制」により実施する入試を、「A0方式による入学試験」と呼んでいます。A0方式というと、書類審査と面接審査のイメージがありますが、当学部の総合選抜入試では論文審査を課し、書類・論文・面接の3つの審査結果を総合的に判断しています。

Q 2 . どのような人が対象ですか？

A 2 .

幅広く、多くの人に門戸を開いているのが総合選抜入試の大きな特徴です。いわゆる自己推薦入試とは異なり、評定平均値や部活動の成績等には一切基準を設けていません。また、高校既卒者、大検取得者、高卒認定試験合格者も出願できます。政治経済に強い関心を持ち、社会的活動、学芸、スポーツ等の分野で主体的に活動してきた、積極性・バイタリティのある人を歓迎します。

Q 3 . 生徒会で書記をしていました。出願資格(3)- に該当しますか？

A 3 .

上記の通り、活動実績に基準は一切設けていません。ですから、生徒会長でなくても、また、生徒会の役員でなくても、積極的に活動に参加し生徒会を盛り上げたのであれば、それは「活躍」と言えるでしょう。ただし、ただ実績を持っているだけでは評価にはなりません。その活動経験から得たものを、入学後の学習や自分の将来にどのように活用するのか、自分の言葉でアピールしてください。

Q 4 . 運動部に所属し、県大会3回戦進出が最高成績でした。出願資格(3)- に該当しますか？

A 4 .

同様に、部活動の成績にも基準は設けていませんので、たとえばそれまで2回戦進出が最高だったものが、努力の結果3回戦進出を果たしたのであれば、それは実績といえるでしょう。あくまでその結果に至る過程が重要視されますので、たとえば県大会優勝の人とベスト16で敗退の人がいても、結果だけでどちらが有利かということはありません。

Q 5 . 今年の春にドイツ語検定3級を取得しました。出願資格(3)- に該当しますか？

A 5 .

自分で目標を設定して挑戦し、達成したのであればもちろん、該当します。また、ドイツ語に限らず、英語以外の外国語を学んでいる人は、ぜひ積極的にアピールしてください。

Q 6 . 出願資格(3)- について、どのような資格を持っていると有利でしょうか？

A 6 .

資格の種類による有利・不利や、特定の資格に対する優遇はありません。重視されるのは結果に至る努力の過程と、そこで得た経験をどのように今後活用していくか、という点です。

Q7 . 中学校で生徒会長を務めていましたが、これは実績となりますか？

A7 .

活動内容として認められるのは、中学校卒業後の活動のみですので、残念ながら中学校時代の活動は認められません。逆に、高校卒業後の活動は認められます。

Q8 . 他大学や他学部と併願することはできますか？

A8 .

総合選抜入試は専願ではありませんから、制度上は併願可能です。しかし、出願資格は早稲田大学政治経済学部を第一志望とし、合格した場合は入学を確約できる者です。

Q9 . 活動記録報告書には、何を書けばよいのでしょうか？

A9 .

自分の活動について、その活動の概要や過程とそこから得たものを、自分の考えを含めて、自分の言葉でアピールしてください。また、その経験を政治経済学部での勉強や自分の将来にどのように活用していくか、という点も重要なポイントです。

Q10 . 活動記録報告書に複数の活動内容を記入したいのですが？

A10 .

活動内容の数は自由です。ただし、活動内容が多いからといって有利になることはありません。内容の多さではなく、あなたがその活動から何を得て、その経験をどのように活かしていきたいのか、が問われます。また、活動内容が複数であっても、必ず1枚の活動記録報告書に記入してください。

Q11 . 活動記録を証明する資料として、どんなものを用意すればよいですか？

A11 .

活動記録報告書に記載した活動が、本当にあなたの活動であることを客観的に証明できることが必要ですので、必ず本人のフルネームが記載された、紙媒体での資料（各種証明書、賞状、新聞・雑誌記事等）を提出してください。この書類審査は、プレゼンテーション能力を競うものでも、資料の量を競うものでもありません。また、提出資料そのものが評価の対象となることはありませんから、資料作成に凝る必要はありません。

なお、活動記録報告書に記載した活動と無関係の資料の提出は認めません。